

小委員会の調査報告書

<p>教科名</p>	<p>生活科</p>	<p>委員長名 植木典彦</p>
<p>調査研究の経過</p>	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を7月1日(火)に、稚内市役所 正庁で開催し、生活科小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月2日(水)から7月13日(日)まで、「教科書見本本」、「教科書編集趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月14日(月)に、稚内市役所 正庁で開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東書、大日本、学図、教出、光村、啓林館、日文の7者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱い内容」について</p> <p>(2) 「内容の構成・排列・分量等」について</p> <p>(3) 「使用上の配慮」について</p> <p>(4) 「その他」</p>	
<p>調査研究に当たった際の配慮事項</p>	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱い内容」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識・技能の習得、活用、探究に対応できるよう、既に学習した内容の系統的な反復学習や練習問題などによる繰り返し学習に関する内容、観察・実験やレポートの作成に関する内容、他教科との関連する内容、補充的な学習や発展的な学習に関する内容、実生活・実社会に関する内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>2 「内容の構成・排列、分量等」について</p> <p>(1) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>(2) 内容の分量が、領域等ごと、全体としてどのようになっているか。</p> <p>3 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高める工夫がなされているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫がなされているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>4 「その他」について</p> <p>上記1～3に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
<p>少数意見その他</p>	<p></p>	

様式 2

教科名		生 活				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		東京書籍	どきどきわくわく新編あたらしいせいかつ上 あしたへジャンプ新編 新しい生活下	2	大日本図書	新版あたらしいせいかつ 上 なかよし 新版あたらしいせいかつ 下 はっけん
取 扱 内 容	<p>○「自分と人とのかかわり」については、新1年生となる幼児やお年寄りと遊ぶ活動など、地域の人々と伝え合い交流し合う活動を通して、地域のよさに気づき、愛着を持てる内容となっている。</p> <p>○「自分と社会とのかかわり」については、地域の商店街や公民館などを繰り返し調べたり、実際に利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動できる内容となっている。</p> <p>○「自分と自然とのかかわり」については、季節感を意識した活動やおもちゃ作りを通して、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫できるようになっている。</p> <p>○「自分自身に関すること」については、活動や生活を振り返りまとめる活動を通して、自分のよさに気づき、意欲や自信を持てる学習内容となっている。</p> <p>○「学び方に関すること」については、児童が見通しを持って取り組めるように、学習のねらいや流れを分かりやすく示す工夫がされている。</p> <p>○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、巻末に学習を広げるための図鑑、資料や単元末に学習を深め広げる資料を掲載したりするなどの工夫がされている。</p>			<p>○「自分と人とのかかわり」については、多様な場面で人との交流を深める活動を通して、地域の良さに気づき、愛着をもてる内容となっている。</p> <p>○「自分と社会とのかかわり」については、地域の商店街や図書館などを繰り返し調べたり、実際に利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動できる内容となっている。</p> <p>○「自分と自然とのかかわり」については、1年を通して季節ごとに特色をおさえ、子ども自らが活動しながら自然を大切にしたりした遊びや生活を工夫できるようになっている。</p> <p>○「自分自身に関すること」については、自分や友だちの良さを発見し、家族への感謝の気持ちを表現する活動を通して、自分の良さに気づき、意欲と自信をもてる学修内容となっている。</p> <p>○「学び方に関すること」については、正解を伏せ、自分たちで考えること促す表現を多用し、「気づき」を獲得できる工夫がされている。</p> <p>○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、語彙力向上のためのコラムを掲載したり、単元や巻末に学習や日常生活に必要なスキルをまとめた資料を掲載したりなどの工夫がされている。</p>		
内容の 構成・ 排列・ 分量等	<p>○内容の構成・配列については、飼育・栽培において、バッタ、ザリガニ、ダンゴムシ、アサガオ、ミニトマトなどの動植物を取り上げ、児童の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように構成し、発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○児童の思いや願いを大切にしながら、対象と十分にに関わり合う時間を確保できるよう、身近で取り組みやすい活動・教材を取り上げている。</p> <p>○内容の分量については、19の単元で構成され、総ページ数は238ページで、前回より約3%増となっている。</p>			<p>○内容の構成・配列については、飼育・栽培において、コオロギ、ザリガニ、アサガオ、ミニトマト、イチゴなどを取り上げ、選択の幅があり児童の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように構成し、発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○単元構成や内容などを通して、活動素材や参考資料等を豊富にし、児童の多様な活動と気づきの質の高まりに資するよう留意されている。</p> <p>○内容の分量については、9の単元で構成され、総ページ数は262ページで、前回より約2%減となっている。</p>		
使用上の 配慮等	<p>○冬の行事として「さっぽろ雪まつり」を取り上げ季節ごとの行事に気づかせたり、キャラクターが思考を促すヒントの投げかけをしたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○めくりながら植物の成長順序をとらえられる変形版ページや、屋外での活動に携行できる図鑑など、児童が楽しみながら主体的に学ぶための造本の工夫がされている。</p> <p>○衛生上の配慮を示した「手洗いマーク」や、安全上の注意を示した「ちゅういマーク」、文節による改行や紙面の配色に配慮するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			<p>○透明シートの口絵を採用し、昆虫の生息場所や環境を隠し絵として表現したり、透明シートを使って夜の町の様子を考えるページを設けたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がされている。</p> <p>○小単元名と各見開きの見出しでは、活動や体験の一つのまとまりやステップが分かりやすいよう明快な表現が用いられ、活動課題も明確に記載され工夫がされている。</p> <p>○巻末の資料ページに活動のヒントを掲載したり、紙面の配色や環境・衛生・耐久性にも配慮するなど、使用上の便宜が図られている。</p>		
その他						

様式 2

教科名		生活				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		学校図書	しょうがっこうせいか	11	教育出版	せいかつ上みんななかよし せいかつ下なかよしひろがれ
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分と人とのかかわり」については、新1年生となる幼児に学校を紹介したり、地域の商店街の人々と交流したりする活動を通して、地域の良さに気づき、愛着を持てる内容となっている。 ○「自分と社会とのかかわり」については、地域の商店街や消防署などを繰り返し訪問したり、調べたりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動できる内容となっている。 ○「自分と自然とのかかわり」については、1年を通して同じ場所で自然に触れる活動を設定し、草花遊びや木の実を使った活動を通して、遊びや生活を工夫できるようになっている。 ○「自分自身に関すること」については、友達のよさを考えたり、幼かった自分のことを調べたりする活動を通して、自分のよさに気づき、意欲や自信を持てる学習となっている。 ○「学び方に関すること」については、調べたことを絵カードや壁新聞についてまとめたりする活動を通して、気づいたことや楽しかったことを表現する工夫がされている。 ○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、単元末に学習スキルや、学習をさらに広げるよう促す資料の掲載などの工夫がされている。 			<ul style="list-style-type: none"> ○「自分と人とのかかわり」については、新1年生となる幼児への学校紹介や公共施設で働く人々との交流活動など、身近な人々とふれあい地域に愛着を持てる内容となっている。 ○「自分と社会とのかかわり」については、地域の公共施設などを繰り返し調べたり、利用する活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動できる内容となっている。 ○「自分と自然とのかかわり」については、同じ公園を季節ごとに繰り返し訪れ、草花を使った遊びやおもちゃ作り発表会の活動を通して、自然を大切に、遊びや生活を工夫できるようになっている。 ○「自分自身に関すること」については、できるようになったことを伝えたり、自分や友達のよさを探す活動を通して、自分のよさに気づき、意欲や自信が持てる学習となっている。 ○「学び方に関すること」については、店の紹介ポスターを作ったり、意見をまとめる活動を通して、気づいたことや楽しかったことを表現する工夫がされている。 ○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、巻末に学習に必要なスキル、季節ごとの動植物の様子を掲載するなどの工夫がされている。 		
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○内容の構成・排列については、飼育栽培において、モルモット、ザリガニ、ダンゴムシ、アサガオ、ミニトマト、キュウリなどの動植物を取り上げ、取り扱う内容を選択できるように構成し、発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○子どもにとって価値のある学習活動となるよう、より実際の授業に近い、子どもの具体的な営みが見えるような展開例が多く取り上げられた構成となっている。 ○内容の分量については、10の単元で構成され、総ページは260ページで、前回より約12%増となっている。 			<ul style="list-style-type: none"> ○内容の構成・排列については、飼育・栽培において、モルモット、ザリガニ、ダンゴムシ、アサガオ、ミニトマト、サツマイモなどの動植物を取り上げ、取り扱う内容の選択の幅があり、児童の興味・関心、意欲を掻き立て、発展的に学習できるような工夫がされている。 ○子ども自らが、学習意欲をもって探究的に取り組めるよう、学び方や思考方法を示す紙面構成となっている。 ○内容の分量については、14の単元で構成され、総ページ数は234ページで、前回より約17%増となっている。 		
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○冬の行事として「さっぽろ雪まつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気づかせたり、学習の様子を表すキャラクターにストーリー性を持たせるなど、児童の学習意欲を高める工夫がされている。 ○各単元を「導入→企画→実行→ふり返し」の4段階で構成したり、巻末に活動を広げるための資料を掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができる工夫がされている。 ○各単元の学習時期が分かる目次や、活動と関連の深い図鑑や資料を示したり、紙面の配色に配慮するなど、使用上の便宜が図られている。 			<ul style="list-style-type: none"> ○まちの自慢の例として釧路市の「幣舞橋」から見た夕日を取り上げ、地域のよさについて気づかせたり、学習をサポートするキャラクターが活動の視点や注意点を示したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がされている。 ○単元末に自己評価を行う欄を設けたり、巻末に学習記録を直接書き込むページを設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができる工夫がされている。 ○小単元ごとに学習のねらいを示す欄や、活動の広がりやを促す「はっ見ヒント」を設けたり、紙面のレイアウトや配色に配慮するなど、使用上の便宜が図られている。 		
そ の 他						

様式 2

教科名		生活				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		光村図書	せいかつ上みんなだいすき せいかつ下みんなともだち	38	啓林館	わくわくせいかつ上 せいかつたんけんブック わくわくせいかつ下
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分と人とのかかわり」については、新1年生となる幼児に学校を紹介したり、パン屋さん取材したりする活動などを通して、地域のよさに気づき、愛着を持てる内容となっている。 ○「自分と社会とのかかわり」については、地域の商店街や図書館等を調べたり、利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動できるようになっている。 ○「自分と自然とのかかわり」については、1年を通じて野外で自然に触れる活動を設定し、草花を使った遊びや木の実を使った遊びの活動を通して、自分たちの遊びや生活を工夫できるようになっている。 ○「自分自身に関すること」については、できるようになったことを考えたり、幼いころの自分について調べる活動を通して、自分のよさに気づき、意欲や自信が持てる学習となっている。 ○「学び方に関すること」については、店の紹介ポスターを作ったり、自分の成長をまとめたりする活動を通して、気づいたことや楽しかったことを表現する工夫がされている。 ○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、単元での学習の広がりや促すページを設けたり、巻末に季節毎の動植物や町の様子の変化の資料を掲載するなどの工夫がされている。 			<ul style="list-style-type: none"> ○「自分と人とのかかわり」については、新1年生を生学校に迎える活動や、地域の菓子店取材する活動などを通して、地域のよさに気づき、愛着を持てる内容となっている。 ○「自分と社会とのかかわり」については、地域の商店街や図書館などを繰り返し調べたり、利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動できる内容となっている。 ○「自分と自然とのかかわり」については、同じ公園を季節ごとに繰り返し訪れ、草花を使った遊びやおもちゃ作りをする活動を通して、自分たちの遊びや生活を工夫できるようになっている。 ○「自分自身に関すること」については、できるようになったことを考えたり、幼いころの自分について調べたりする活動を通して、自分のよさに気づき、意欲や自信が持てる学習となっている。 ○「学び方に関すること」については、虫について調べたことを壁新聞にまとめたり、意見を付箋紙を使ってまとめたりする活動を通して、気づいたことや楽しかったことを表現する工夫がされている。 ○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、野外活動にかかわる内容を別冊にまとめて記載し、巻末に学習に必要なスキル等をまとめた資料を掲載するなどの工夫がされている。 		
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○内容の構成・排列については、飼育・栽培において、モルモット、ダンゴムシ、アゲハチョウ、アサガオ、ピーマン、キュウリ、サツマイモなどの動植物を取り上げ、児童の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように構成し、発展的に学習できるような工夫がされている。 ○子どもや学校、地域の実態に応じて活用できる活動のまとめりごとの単元構成となっている。 ○内容の分量については、13の単元で構成され、総ページ数は224ページで、前回より約5%増となっている。 			<ul style="list-style-type: none"> ○内容の構成・排列については、飼育・栽培において、ウサギ、バッタ、コオロギ、アサガオ、ミニトマト、サツマイモなどの動植物を取り上げ、取り扱う内容を選択できるように構成し、児童の興味・関心を掻き立て、発展的に学習できるような工夫がされている。 ○単元を通して活動が深められ、先生や保護者、身近な大人にも子どもの主体的な活動の支援に繋がる構成となっている。 ○内容の分量については、18の単元で構成され、総ページ数は307ページで、前回より約10%増となっている。 		
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○上下巻にオリジナルソングを掲載したり、単元の導入ページに児童の生活や経験とその単元の活動を結び付けたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○各単元をホップ（導入）・ステップ（展開）・ジャンプ（ふり返り・発展）の3段階で構成したり、活動を広げるヒントを掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができる工夫がされている。 ○歌う活動のページに♪マークや、安全上の注意が必要な場面に！マークを付したり、紙面の配色に配慮するなど、使用上の便宜が図られている。 			<ul style="list-style-type: none"> ○冬の行事として「さっぽろ雪まつり」を取り上げ季節ごとの行事に気づかせたり、吹き出しや文章で活動や気づきのヒントを示すなど、児童の学習意欲を高める工夫がされている。 ○各単元を「わくわく」「いきいき」「つたえあおう」「ちゃれんじ」の4段階で構成したり、児童が教科書に直接自分の考えを書き込むページを設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができる工夫がされている。 ○巻末の資料、別冊との関連を示すマークや活動の段階を示すマークを付したり、紙面の配色に配慮するなど、使用上の便宜が図られている。 		
そ の 他						

様式 2

教科名		生活				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		日本文教出版	わたしとわがまち(上)(下)	116		
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分と人とのかかわり」については、新1年生となる幼児や地域で働く人々との交流などの活動を通して、地域のよさに気づき、愛着を持てる内容となっている。 ○「自分と社会とのかかわり」については、地域の商店街や図書館などを繰り返し調べ、利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動することができる内容となっている。 ○「自分と自然とのかかわり」については、四季の公園での定点観測により、比べる力を高め様々な気づきを喚起させ、自分の遊びや生活を工夫することができるようになっている。 ○「自分自身に関すること」については、できるようになったことを考えたり、自分や友達のよさを探したりする活動を通して、自分のよさに気づき、意欲や自信が持てる学習となっている。 ○「学び方に関すること」については、自立・協同・問題解決のスキルなどを、活動の中で繰り返し活用して身につけ、気づいたことや楽しかったことを表現する工夫がされている。 ○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、単元末に草花遊び、巻末には季節の行事や世界の料理などをまとめた資料を掲載するなどの工夫がされている。 					
内容の構成・排列・分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○内容の構成・排列については、飼育栽培において、ハムスター、ザリガニ、ダンゴムシ、アサガオ、サツマイモなどの動植物を取り上げ、児童の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように構成し、発展的に学習できるような工夫がされている。 ○授業の流れを重視し、子どもが主体的に課題に向き合い、協同しながら問題解決を図ることができるよう、「課題解決型学習」の考えに沿った紙面構成がなされている。 ○内容の分量については、10の単元で構成され、総ページ数は270ページで、前回より約15%増となっている。 					
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○冬の行事として「くしろふゆまつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気づかせたり、同じページの写真・イラスト・絵カードをそれぞれ関連づけ、ストーリー性を持たせたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○次の活動のヒントとなる言葉を吹き出しに示したり、単元末に絵カードを整理し、学習を振り返るなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ページ右下の挿絵で家庭との連携や、巻末の資料との関連を示すマークを付すなど、使用上の便宜が図られている。 					
その他						